

# さぶりめんと

No.17

## 手術室を増改築しました

副院長 大園 健二

平成22年8月に着工した手術室(4室)の増築及び既存手術室の一部改築工事が終了し、今春、竣工を迎えました。5月から既存手術室(9室)に加え、新築した手術室での手術を開始しています。最新設備を備えた新手術室をご紹介します。

### ★★★ 特徴 1 ★★★

#### ドイツ製最新鋭手術設備を採用

(ヨーロッパ以外の地域では初導入の設備)



★既存設備に比較して手術部位付近での空気の清潔度を保つ機能に優れており、手術の安全性の向上

★天井から吊り下げられた四方の枠の中に電源や医療用配管を配置することによる手術室内配線の整理

### ★★★ 特徴 2 ★★★

#### 腹腔鏡や胸腔鏡等の内視鏡手術にも

効率的に対応



★電気メスや内視鏡などの医療機器を効率的に配置するための天井吊り下げ式専用アームの設置や手術中に必要な情報を表示するモニターの充実による手術の安全性の向上

★壁面構造を工夫し、広い室内空間と自由度の高い収納スペースを同時に実現

「より安全に手術を受けていただくこと」を病院としての基本的な考え方方に据え、各所に安全上の配慮や設計上の工夫を行っています。

今般、4室を増築(総数13室)し、手術環境が更に充実したことにより、これまで長時間に及んでいた「手術待ち期間」の短縮を図り、少しでも早期に手術を受けていただけるよう努力します。

今後とも、より安全な手術、良質な医療の提供を通じて、皆様の信頼に応えていきたいと考えています。



不整脈ってどんな病気？ 急に胸がドキドキする感じがしたり、脈が飛ぶ感じがする。あるいは、息切れがしたり、めまいやふらつきなどの症状はありませんか？ それらは、不整脈が原因かもしれません。

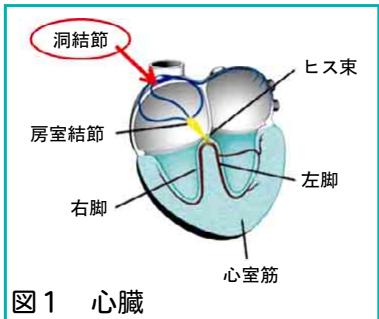


図1 心臓

心臓は収縮と拡張を繰り返すことにより全身に血液を送る働きをしています。この収縮と拡張は心臓の洞結節という所から規則正しく(60-100回/分)出る電気刺激により生じています(図1)。不整脈とは、この電気刺激が正常に働くかなくなり、脈が不規則になってしまい状態のことです。

不整脈は大きく頻脈性不整脈(1分間に100回を超える)、徐脈性不整脈(1分間に60回未満)、期外収縮(拍動が一時的に早く生じ一瞬脈が乱れる)の3つに分けられます。

## 不整脈の原因

不整脈は様々な原因により生じます。心筋梗塞や心臓弁膜症などの心臓自体の病気から引き起こされる場合や、甲状腺や肺などの病気から不整脈が生じるようになる場合もあります。また、自律神経のバランスが崩れたりすることにより生じることもあります。

## 不整脈の治療



当院では種々の不整脈に対し様々なアプローチで治療を行っております。

### ●徐脈性不整脈では主にペースメーカー治療を行います。

ペースメーカーは、ごく弱い電気刺激を心臓に送り出すことで脈拍を正常に戻します。現在ではペースメーカーの小型化が進んでおり(重さ20~25g)、日本国内では年間5万人以上の方が治療を受けています。(2008年ペースメーカー協議会発表)

### ●頻脈性不整脈・期外収縮に対しては薬物療法やカテーテルアブレーション治療を行います。

近年、心房細動に対するカテーテル治療が行われるようになってきました。

カテーテルとは、医療用に用いられる中空の柔らかい管のことです。アブレーションとは、「取り除くこと、切除すること」という意味です。カテーテルの先から高周波電流を流して、心臓内の異常な部位の組織を小さく焼灼することで不整脈を治します。(図2)

当院循環器内科は、ペースメーカー治療やカテーテルアブレーション治療に関しても、県下でトップクラスの症例数となっております。

- ペースメーカー治療(年間約150症例)
- カテーテルアブレーション治療(年間約200症例)

また、植込み型除細動器や両心室ペースメーカー植込み認定施設となっております。

図3 除細動器付き両心室ペースメーカー

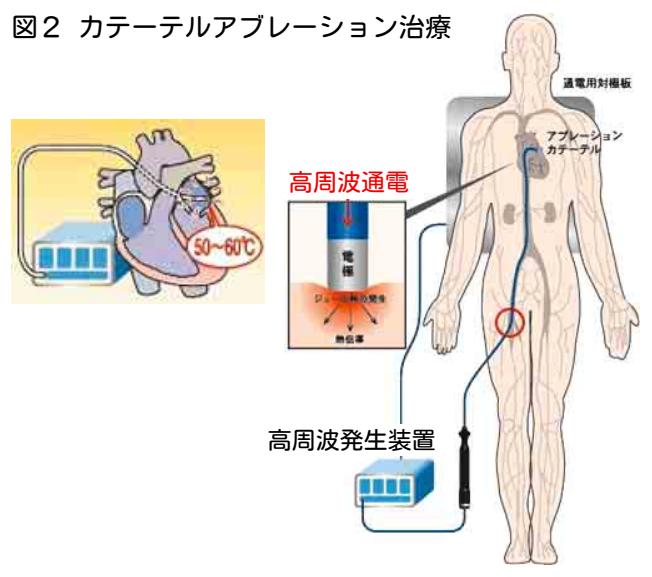


通常のペースメーカー機能に加え、心不全治療機能と致死性の不整脈(心室頻拍、心室拍動)を治療する機能を搭載した植込み型の治療機器です。

気になる胸の症状をお持ちの方は一度専門医(循環器内科)にご相談ください。



図2 カテーテルアブレーション治療



独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西ろうさい病院

尼崎市稻葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221(代)

H P <http://www.kanrou.net/>

携帯版H P <http://kanrou-mobile.jp/>

ブログ<http://kanrou.blog106.fc2.com/>

発行人 林 紀夫 編集人 堤 圭介

